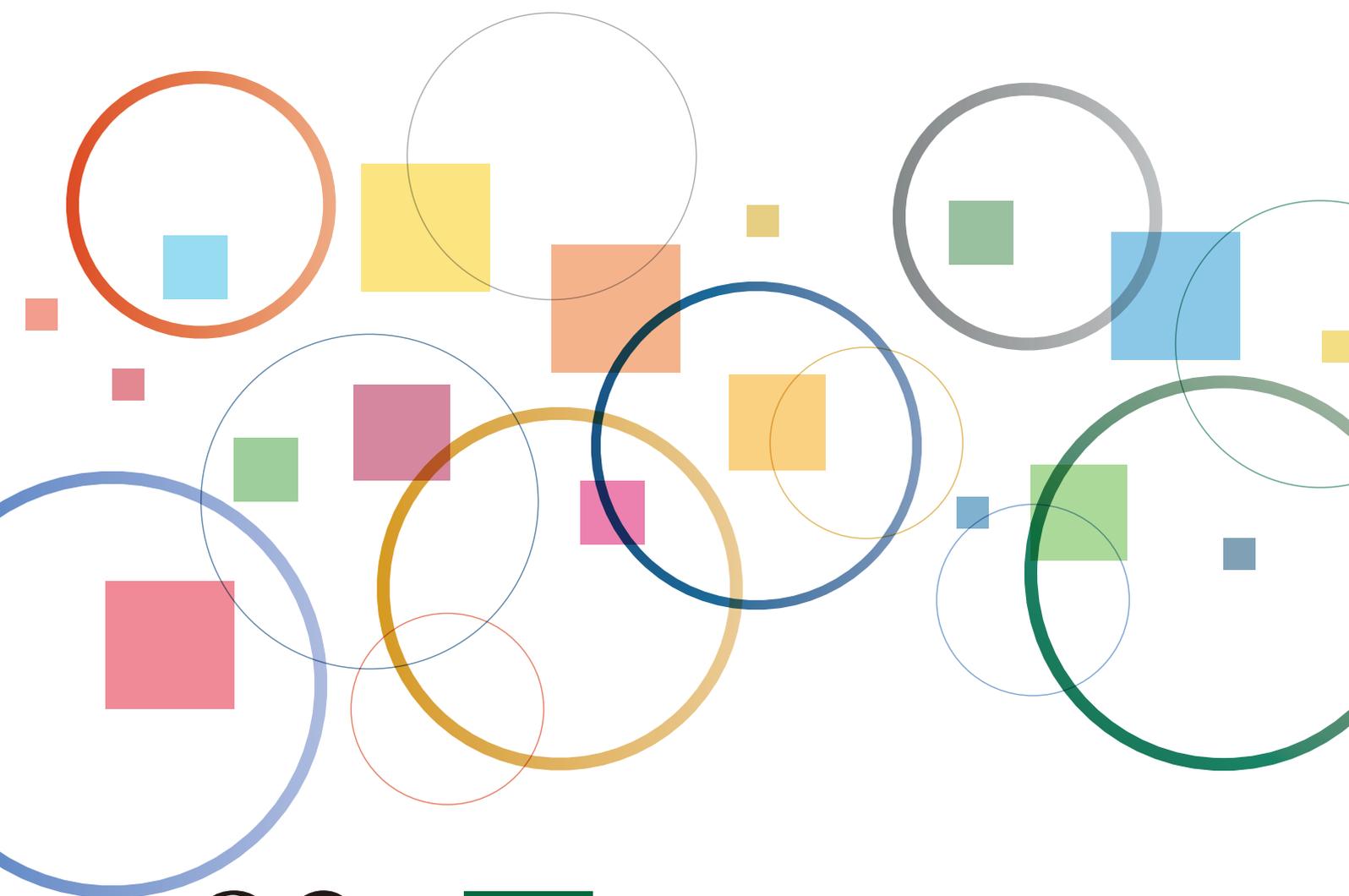


株主・投資家の皆さまへ



第 83 期 **通期**

# 大和証券グループ ビジネスレポート

2019年4月1日～2020年3月31日

**大和証券グループ本社**

Daiwa Securities Group Inc.

# 株主の皆さまへ



株式会社大和証券グループ本社  
執行役社長 CEO

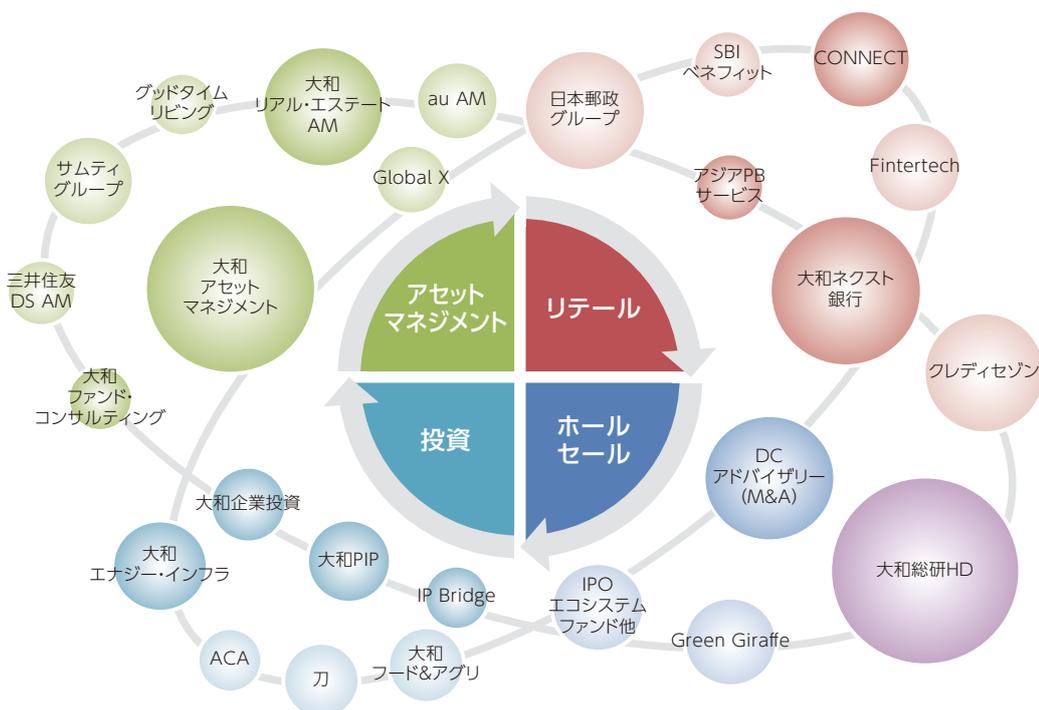
中田 誠司

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
はじめに、新型コロナウイルス感染症の影響を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

今年度は、2018年4月から当社グループがスタートさせた3か年の中期経営計画“Passion for the Best” 2020（以下、「中計」）の最終年度となります。「お客様第一の業務運営」のクオリティを追求するとともに、新規ビジネス領域と伝統的な証券業との融合による「新たな価値」を創出することにより、持続的な企業価値向上を目指してまいります。

2019年度の国内株式相場は、米中貿易問題への懸念や新型コロナウイルス感染症の拡大を背景に変動が極めて激しい年となりました。2020年1月は日経平均株価が24,083円をつけましたが、その

## ■ ハイブリッド型総合証券グループ=大和エコシステムの拡大



### 主なハイブリッドビジネス分野

- 不動産アセット・マネジメント・ビジネス
- 銀行ビジネス
- リテール分野における外部連携
- エネルギー/インフラ分野
- 次世代金融サービスの創出
- 農業・食料分野での事業領域拡大

後は新型コロナウイルス感染症の影響から世界的に株価は大幅な調整局面を迎えました。

このような環境下、グループの連結業績は、純営業収益4,262億円、経常利益702億円、最終利益を示す親会社に帰属する純利益は603億円となり、通期の配当を1株あたり20円(中間配当11円、期末配当9円)といたしました。株主の皆さまへの利益還元につきましては、配当性向が実績値で51.1%となります。また、更なる利益還元として、株式総数5,000万株(発行済株式総数(自己株式を除く))に対する割合3.19%の自己株式取得を実施しております。

中計の基本方針の一つである、「クオリティNo.1のコンサルティング力による付加価値の高いソリューションの提供」に向けた取組み事例として、リテール部門においては、お客様本位の業務運営をより強化するため、大和証券の全営業店に、お客様満足度を測る指標「大和版NPS®」を導入いたしました。社内及び外部調査会社によるNPS調査とともに、対面大手証券5社の中では1位を獲得するなど、取組みに一定の効果が現れております。人生100年時代において顕在化する資産形成に対するニーズ、相続対策や事業承継に対するニーズについてもグループを挙げて取り組むことで、「お客様本位」の実現を図ってまいります。

また、伝統的な証券ビジネスを核に、外部ネットワークや周辺ビジネスの拡大・強化によるハイブリッド型総合証券グループとしての「新たな価値」の提供に向け、事業ポートフォリオの多様化、既存事業と

のシナジー効果、さらには、SDGsの観点を踏まえた投資を実行してまいりました。今年度においては、高齢のお客さまへのソリューション提供<sup>※1</sup>、次世代金融サービスの開発<sup>※2</sup>や不動産アセット・マネジメントビジネスの拡大<sup>※3</sup>、再生可能エネルギー分野に特化したフィナンシャル・アドバイザー事業<sup>※4</sup>の拡大等への投資を行いました。引き続き、伝統的証券ビジネスをコアとした事業ポートフォリオの多様化を進めることにより、グループ収益の多様化と安定化を図るとともに、お客様に対する新たな付加価値の提供を追求して参ります。

今般の新型コロナウイルス感染症に対する危機対応を契機として、世界的にも働き方改革やデジタル化の進展が加速しており、産業構造のみならず、社会全体が変貌を遂げようとしています。歴史的転換点に立つ今こそ、「未来を創る、金融・資本市場のパイオニア」として、お客様や金融・資本市場に価値ある新たな未来を創るべく、サステナブルで豊かな社会・国民生活の実現に貢献して参ります。

株主の皆さまにおかれましては、今後もなお一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

2020年6月

※1 老人ホームを運営するグッドタイムリビングの子会社化

※2 クレディセゾンとの資本業務提携

※3 サムティとの資本業務提携

※4 Green Giraffe Advisory B.V.への出資

(注) NPS®は、ベイン・アンド・カンパニー、フレッド・ライクヘルド、サトメトリックス・システムズの登録商標です。

# 財務情報

## 業績概況

2019年度の営業収益は前年度比6.7%減の6,722億円、純営業収益は同3.4%減の4,262億円となりました。

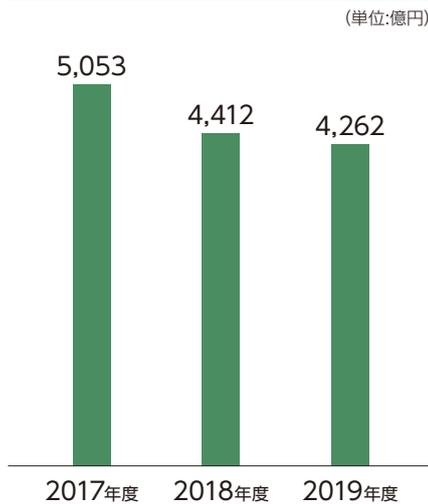
部門別の純営業収益について、リテール部門では、ラップ口座サービスの純増額は堅調で、契約資産残高は2兆874億円となりましたが、株式の取引及び投資信託の販売が減少し、同10.5%減少となりました。ホールセール部門は、グローバル・マーケットでは米州を中心とした海外の金融市場部門が好調に推移し、グローバル・インベストメント・バンキングでは債券引受け・クロスボーダーM&A案件等を積上げたことにより、同8.4%増となりました。アセット・マネジメント部門では、サムティ・レジデンシャル投

資法人を連結子会社化した一方、市場環境悪化の影響による公募株式投資信託の運用資産残高の減少などにより、同0.3%減となりました。投資部門では、投資案件の再評価に伴う損失を計上したものの、複数の投資先の売却益等により、同41.7%増となりました。

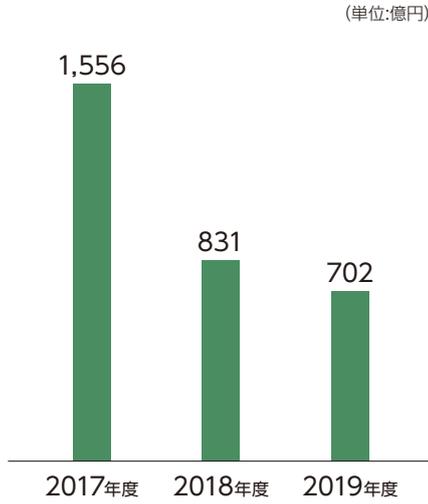
一方、販売費・一般管理費は取引関係費が減少し同0.5%減の3,719億円となりました。

以上より、経常利益は、同15.5%減の702億円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、同5.4%減の603億円となりました。

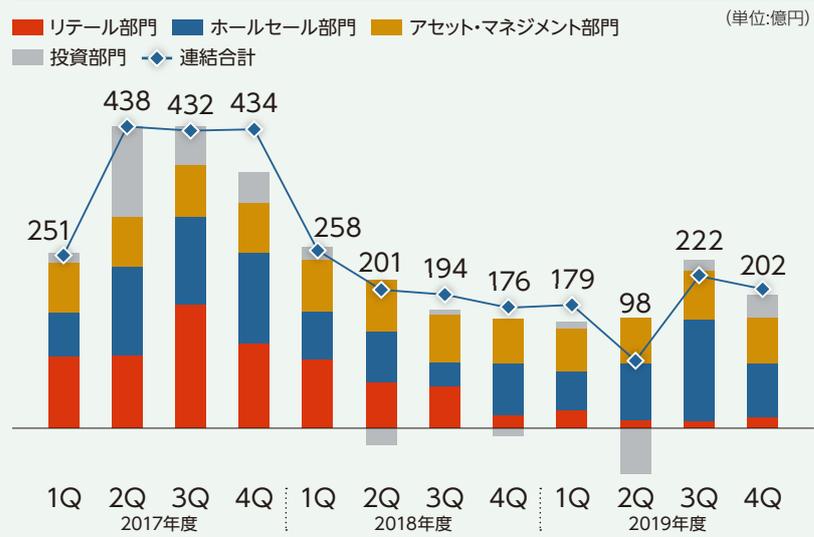
純営業収益



経常利益



セグメント別経常利益

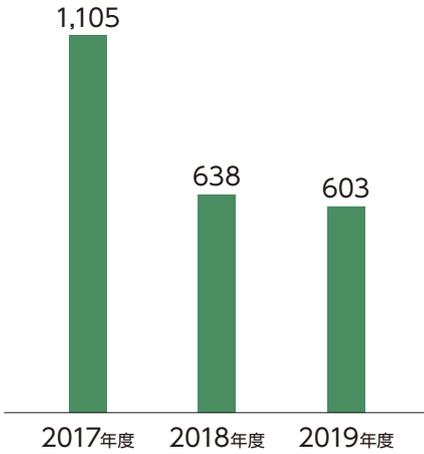


海外部門地域別経常利益

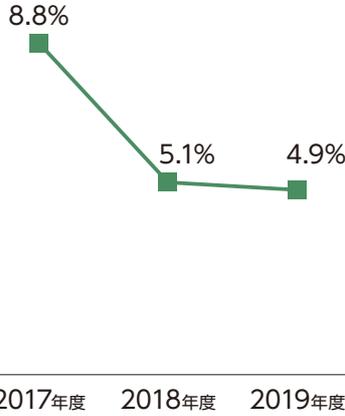


親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:億円)

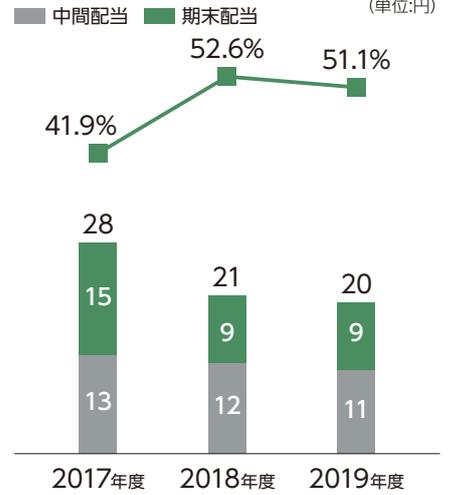


ROE



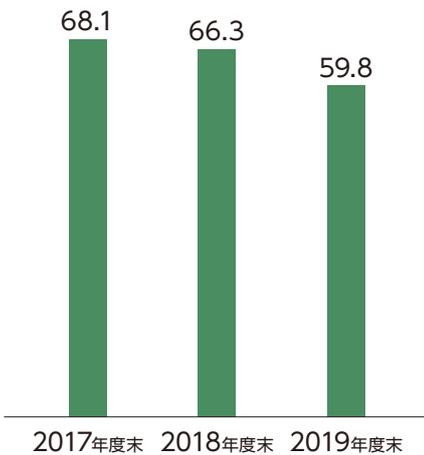
1株当たり配当金/配当性向

(単位:円)

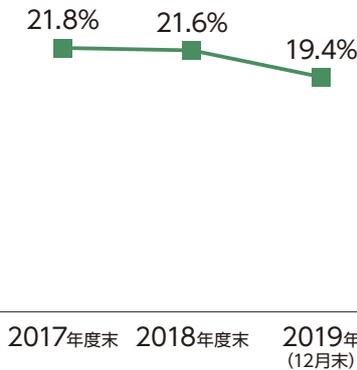


預り資産 (大和証券)

(単位:兆円)



連結総自己資本規制比率



信用格付け

(2020年3月末現在)

S&P	
大和証券グループ本社	BBB+
大和証券	A-
Moody's	
大和証券グループ本社	Baa1
大和証券	A3

市場環境

- 当期の国内株式市場は、米中貿易問題や新型コロナウイルスの影響により株価の変動が大きい一年でした。
- 上期は米中貿易問題への報道に一喜一憂する展開が続きましたが、12月に入ると米中協議は第1段階の合意に達しましたが、材料不足や市場参加者の減少を理由に相場は年末にかけて低調となりました。2020年に入ると、各国の金融緩和や経済対策の策定が下値を支えましたが、3月以降はパンデミックとなった新型コロナウイルスの影響が深刻となり、世界的に株価は大幅調整となりました。
- 当期末の日経平均株価は18,917.01円、TOPIXは1,403.04ptとなりました。

国内指標、米ドル/円レート



# トピックス

一日も早い収束を心より祈って

## 新型コロナウイルス感染症に対する対応と支援活動

当社グループは、新型コロナウイルス感染症に対する対応と支援活動を下記の通り行っております。罹患された方々の一日も早い回復と共に、感染の収束を心よりお祈り申し上げます。

### 従業員

- 社員とその家族の安全のため、全社員を対象としたテレワーク制度を本格導入
- オフィス出勤時と同一環境での業務が可能なポータブル端末を2019年11月～2020年2月にかけて大和証券全社員に配付
- 大和証券を含む国内グループ会社の社員のオフィス出勤者は約7割減（4月20日時点）
- やむを得ず出勤が必要な社員に対しては、感染リスクを低減させるため、時差通勤・自転車・マイカー通勤の利用条件緩和、グリーン車利用、勤務地近隣ホテル宿泊の認可、貸切バスの運行など、各種制度を拡充
- 全社員がより休みやすいよう特別休暇（有給）を無制限に取得可能に
- 子育て中の社員、妊婦、ベテラン社員、基礎疾患がある社員への配慮を促進

### お客さま

#### 個人投資家

- お客さまとの対面での面談が困難な状況下、ポータブル端末を活用し、電話・Web面談を通じてタイムリーな情報・コンサルティングを提供
- お客さまの健康と安全を考慮し、全店舗（170店舗）の店頭業務を一時休止
- 中小企業経営者支援の目的で、緊急対策として特別優遇金利での証券担保融資を実施（個人・法人ともご利用可能）
- コンタクトセンターではスプリットチーム制を実施し、お客さま対応を継続

#### 機関投資家

- マーケット・メーカーとして資本市場に流動性を供給し、高水準の取引を執行

#### 企業

- オンライン会議を有効に活用し、コロナショックに直面するお客さまの資金調達・財務アドバイザリーニーズに対応
- 国際金融公社（IFC）が発行するソーシャルボンドを引受けるなど、社会課題に対応するための資金調達を支援

### 社会

#### 国内

- 医療従事者等の活動を支援するため、災害用に備蓄していたN95マスクを中心としたマスクを厚生労働省に4万枚、経団連に7千枚、医療関連施設等に1.9万枚、計6.6万枚を寄付
- 医療従事者及びエッセンシャル・ワーカーの活動支援として、株式会社JHATが運営するホテルで実施している「医療関係従事者等への客室支援プラン」の宿泊費に充当するために、500万円を寄付
- 臨時休校中の子どもたちをサポートするため、食料品を子ども食堂へ寄付。また、居場所支援に取り組む団体へ衛生用品を寄付

#### 海外

- 新型コロナウイルスの被害に対する現地での対応活動を支援するため、湖北省赤十字会に100万人民元（1,573万円）、中国武漢市、北京市などに災害用に備蓄していたN95マスク6万枚を寄付



## 大和証券グループの入社式をライブ中継で開催

2020年4月1日、入社式を開催し総勢460名が新たに当社グループの一員となりました。新入社員に向け、大和証券グループ本社執行役社長中田誠司が、次のメッセージを送りました。

証券会社の社会的使命は、証券市場を通じて、経済の発展、持続可能な豊かな社会作り貢献していくことです。皆さんには、今日からその大きな社会的使命を担う大和証券グループの一員として、それぞれの業務に取り組んでいただきます。

大和証券グループには、117年を超える歴史の中で新しいことを次々と実現してきた「パイオニア」精神があります。その上で、「クオリティNo.1のコンサルティング力により付加価値の高いソリューションを提供」することと「ハイブリッド型総合証券グループとして新たな価値を提供」することを基本方針に、「未来を創る、金融・資本市場のパイオニア」として、お客さまや金融市場に価値のある「新たな未来」を創っていくと共に、「お客さま資産の拡大」と「日本経済を牽引する企業の成長」の、好循環を実現します。

（中略）

こうした大和証券グループの発展を実際に支えていくのは、社員の皆さん一人ひとりの力です。そこで、仕事に対する基本的な心構えを3つ伝えます。

一つ目は「知識・ナレッジ」の習得です。時代の変化とともにお客様の価値観が多様化する中、お客様が抱える課題に対してベストなソリューションを提供するためには、高い専門能力が必要です。

二つ目は、「スキル・テクニック」を磨くということです。学んだナレッジをフルに活用し、お客様にベストソリューションを提供する事でこそ、知識を質の高い技術へ転嫁し、仕事のクオリティを引き上げることができます。

最後に、最も重要なのが「マインド」です。お客様に真摯に誠実に向き合う「顧客マインド」、コンプライアンスを守る「リーガルマインド」、何が何でもやり遂げる「セルフマインド」の3つです。この3つのマインドが揃って、初めて本当の意味で「クオリティNo.1」と言えます。皆さんには、私たちと共に日本および世界を代表する素晴らしい真の「超一流の会社」を目指し、頑張ってくださいと思います。皆さんの成長と活躍を大いに期待しています。

週刊東洋経済「就職人気ランキング」

2021年卒・前半 総合順位 4位

大和証券グループ本社による

## 個人投資家向け会社説明会の開催

当社は、2019年度に個人投資家向け会社説明会を2019年8月、9月、12月、2020年2月、3月に計35回開催し、合計9,212名の個人投資家の皆さまにご参加いただきました。(2020年3月は新型コロナウイルス感染症対策によりインターネットセミナーを除き開催自粛)

また、インターネットセミナーを3回実施し、3,353名の方にご視聴いただきました。

プレゼンテーション資料(PDF)は  
当社WEBサイトよりご覧いただけます。



今後の開催については、状況変化を見極めたうえで、改めて再開時期を検討していきます。

### ■ 2019年度個人投資家向け会社説明会開催実績

大和証券支店開催会社説明会	参加者数: 690名 / 25回
大和IR主催会社説明会	参加者数: 2,245名 / 6回
インターネットセミナー	視聴者数: 3,353名 / 3回
その他、女性向けセミナー	参加者数: 2,924名 / 1回
2019年度合計	参加者数: 9,212名 / 35回

※2020年3月末までのオンデマンド視聴者数を含む

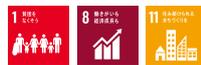
大和証券グループとしての新たな価値創出に向け

## 事業ポートフォリオの多角化に向け、SDGsに資する投資を拡大

当社グループは、中期経営計画「“Passion for the Best” 2020」において、伝統的な証券ビジネスを核に、外部ネットワークや周辺ビジネスの拡大・強化による「ハイブリッド型総合証券グループ」としての「新たな価値」

の創出に向け、事業ポートフォリオの多角化や既存事業との相乗効果などに向け、SDGs(持続的可能な開発目標)に資する投資を積極的に実施しています。2019年下期の取り組みの一部をご紹介します。

### 金融関連分野



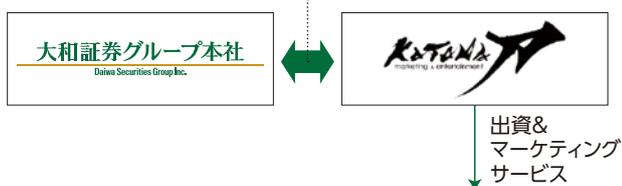
### 株式会社刀との資本業務提携

～SDGsに資する地方創生投資で協業へ

当社と株式会社刀は2020年1月に資本業務提携を行いました。刀社は、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンをV字回復させた立役者として知られる戦略家・マーケターの森岡毅氏が率いるマーケティング精鋭集団です。本資本業務提携を通じて、刀のマーケティング力と大和証券グループの経営リソースを掛け合わせ、マーケティングノウハウ普及により企業の成長をサポートするとともに、SDGsに資する地方創生投資で協業し、日本経済の活性化に取り組みます。

下図のように、既に第一弾の取り組みもスタートしています。

### 資本業務提携



新たな事業の創造・再生を目指した「地方創生」への投資

第1弾

株式会社ジャパンエンターテインメント  
▶ 沖縄県北部のテーマパーク事業

### エネルギー・インフラ関連分野



### Green Giraffe Advisory B.V.へ出資

～再生可能エネルギー分野のノウハウ強化へ

当社は、子会社である株式会社大和インターナショナル・ホールディングス傘下のDC Advisory Holdings Limitedを通じて、再生可能エネルギー分野に特化したフィナンシャル・アドバイザー事業を行うGreen Giraffe Advisory B.V.へ2019年10月に50%出資しました。

本提携により、欧州のDaiwa Corporate Advisoryが行うインフラ関連アドバイザー事業を補完するとともに、再生可能エネルギーをはじめとするインフラ関連アドバイザーのプラットフォームが一層強化できるものと考えています。



- 欧州のDaiwa Corporate Advisoryが行うインフラ関連アドバイザー事業を補完
- 再生可能エネルギーをはじめとするインフラ関連アドバイザーのプラットフォームの一層強化へ

# トピックス

大和ネクスト銀行

**応援する**

がんばる人に、あなたのエールを。

## 応援定期預金1,000億円突破(累計預入額)

「誰でも気軽に社会課題の解決に参加できること」をコンセプトに、2017年11月に取り扱いを開始した、株式会社大和ネクスト銀行の「応援定期預金」の累計預入額が、2020年2月に1,000億円を突破し、累計預入件数についても1.3万件を突破しました。“SDGs達成へ貢献できる預金”として多くのお客さまにご評価いただいた結果と考えています。



「応援定期預金」累計預入(2020年3月現在)

1,570億円 / 1.37万件

「応援定期預金」応援先

こどもの医療支援	障がい者スポーツ支援
こどもの自立支援	環境保護

上記4つのテーマで課題解決に取り組む10以上の団体を応援

## 第3回「ジャパンSDGsアワード」で新形態銀行として初めて特別賞を受賞

～応援定期預金による幅広いSDGs達成への取り組みが評価～

株式会社大和ネクスト銀行は、2019年12月20日、首相官邸大ホールにて、安倍内閣総理大臣を本部長とするSDGs推進本部から、同行の「応援定期預金」がSDGsの達成に貢献するものとして、特筆すべき功績があったと認められ、第3回「ジャパンSDGsアワード」における特別賞「SDGsパートナーシップ賞」を受賞しました。新形態銀行としては初めての受賞となります。



授賞式の様子

多様な働き方を支援

## 当社グループの取り組みが高評価を獲得

当社は、2019年度において、経済産業省と東京証券取引所が共同で主催する「なでしこ銘柄」、「健康経営銘柄2020」に6年連続で、「健康経営優良法人2019(ホワイト500)」に4年連続で選定されました。

当社では10年以上に亘り女性活躍推進に積極的に取り組んでおり、2015年に「女性活躍推進等に関する目標」を掲げ、様々な取り組みを継続的に実施した結果、女性管理職はグループ全体で施策実施以前の約5倍、当社取締役のうち女性は3名となっています。



6年連続受賞  
「なでしこ銘柄」「健康経営銘柄」

4年連続受賞  
「健康経営優良法人」



## アナリストランキングで2年連続首位を獲得

当社グループは、3月に発表された日経ヴェリタス紙の「第32回人気アナリストランキング」において会社別総合順位で1位を獲得しました。業種別ランキングでは8名のアナリストが1位を獲得したほか、ランクインしたアナリスト数は最多の44名を数えました。

当社は、現中期経営計画において、国内外におけるリサーチクオリティの向上により、日経ヴェリタス・ランキングで安定的に3位以内を獲得することを目指しています。

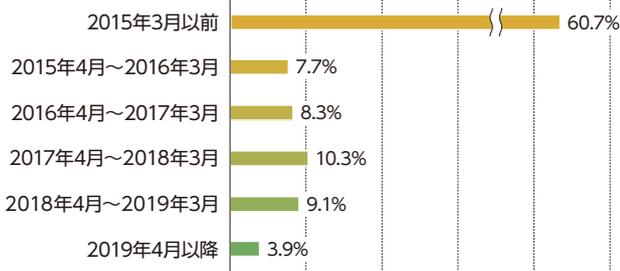
今後もお客様ニーズに合ったクオリティNo.1のアナリストレポート・情報提供力の強化に努めてまいります。

2019年9月末株主優待にご応募いただいた約128,000名の株主さまに対して、アンケートを実施しました。

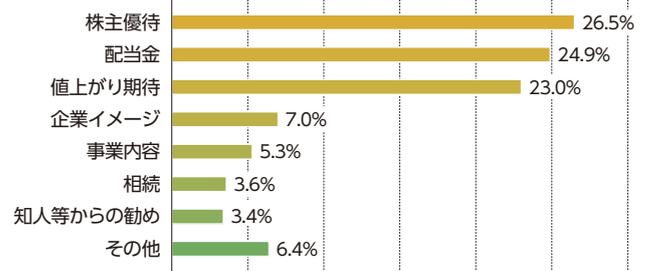
その結果、105,386名の方からご回答いただきました(回答率約82%)。皆さまのご協力に厚く御礼申し上げます。

今後もこうした機会を利用し、いただいたお声をもとに当社のIR活動の拡充を図るとともに、より充実した株主優待の展開にもつなげていきたいと考えております。

## ① 当社株式を最初に保有した時期



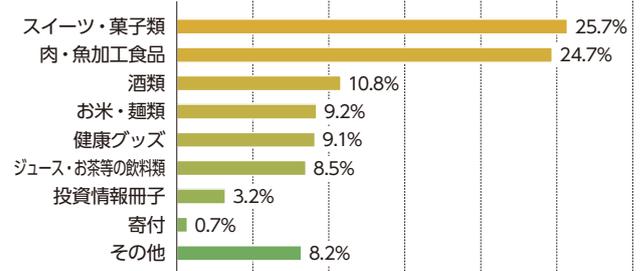
## ② 当社株式を取得した理由 (複数回答可)



## ③ 今後の拡充を望む情報開示やコミュニケーション活動 (複数回答可)



## ④ 次回の株主優待で拡充して欲しい商品 (複数回答可)



## 株主優待のお申し込み、議決権行使はWebが便利です!

オリジナルカレンダーは議決権をご行使いただいた株主さまへの進呈となります。是非ご行使ください。

### 株主優待のお申し込み

株主優待のお申し込みは、Webからのお申し込み、またはハガキ郵送で受け付けております。Webによるお申し込みのご利用により、子どもの貧困問題への取り組みサポートや、一部の商品のお届けのご指定等が可能となります。お申し込み方法の詳細は、株主優待お申し込み案内用紙をご覧ください。

#### 株主優待 お申し込みサイト

<https://www.daiwa-grp-yutai.jp/>

#### お申し込み締切日

2020年7月31日(金)



※ お申し込み済みの株主さまは、お申し込みサイトにログインしていただきますとお申し込み内容の確認が出来ます。

### スマートフォン用議決権行使サイトのご案内

議決権行使を「より身近に」感じていただき、「より手軽に」行使いただけるよう、スマートフォン用議決権行使サイトをご案内します。

#### ご利用手順

- 手順 1** スマートフォン、タブレット端末のバーコードリーダーを起動し、議決権行使書用紙の右下「スマートフォン用議決権行使ウェブサイトログイン二次元バーコード※」を読み取りください。
- 手順 2** 表示されたURLのWebサイトへアクセスすると議決権行使サイト画面が開きます。
- 手順 3** 画面の案内に従って各議案の賛否をご入力ください。
- 手順 4** 確認画面で問題がなければ「この内容で行使する」表示ボタンを押して行使完了となります。

※ 株主さま固有の情報を暗号化して二次元バーコードを表示しています。

#### ご投票期限

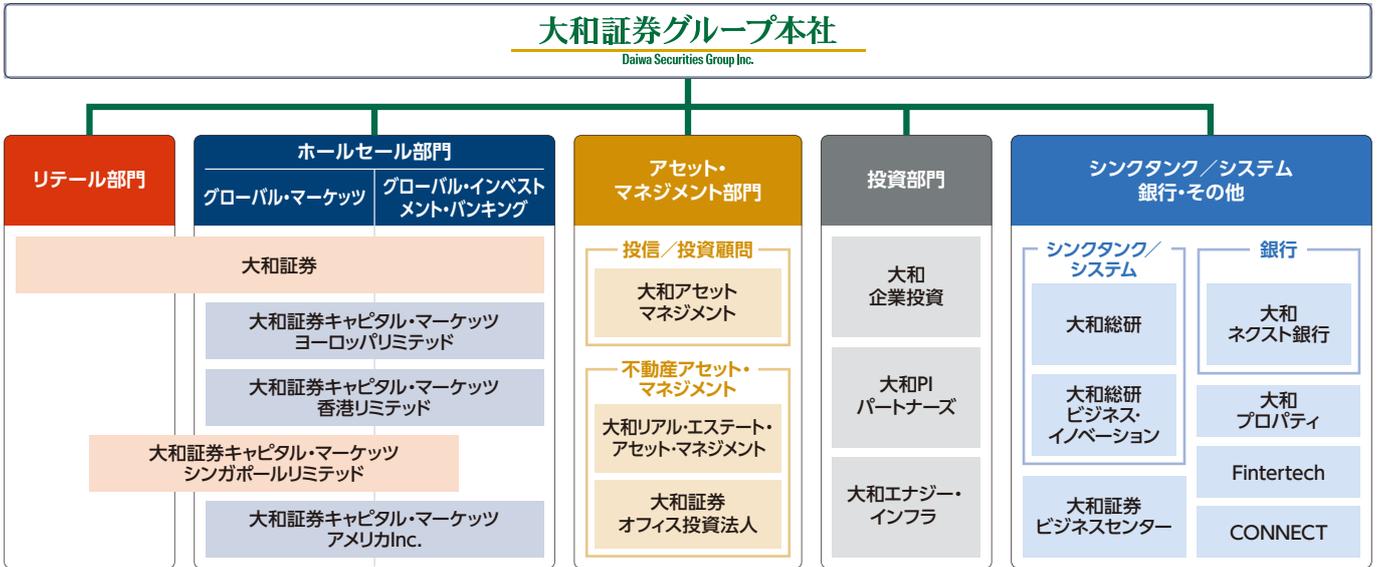
2020年6月24日(水) 17:00

第83回 定時株主総会  
2020年6月25日(木) 開催予定

従来のインターネットによる議決権行使には、定時株主総会招集ご通知に同封の議決権行使書に記載の「議決権コード」および「パスワード」が必要となります。**株主優待お申し込みサイトの【株主様マイページ】から、「議決権行使ウェブサイト」へ簡単にアクセス可能です。**

# 会社概要 / 株式・株価の情報

## ■ 大和証券グループの主要会社構成 2020年4月1日現在



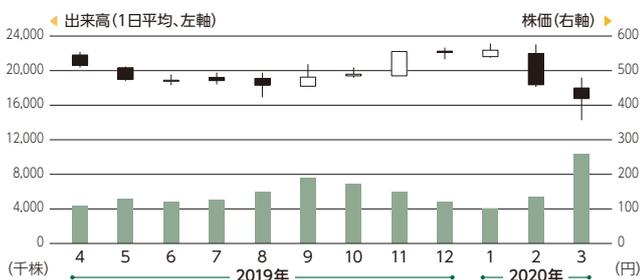
## ■ 会社概要 2020年3月31日現在

商号	株式会社大和証券グループ本社 英文：Daiwa Securities Group Inc.
証券コード	8601
所在地	〒100-6751 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 グラントウキョウ ノースタワー
電話	(03) 5555 - 1111 (代)
創業日	1902年5月1日
設立日	1943年12月27日
代表者	執行役社長 中田 誠司
資本金	2,473億円
事業内容	有価証券関連業務およびその遂行を支援する業務を営む国内および海外の子会社、関連会社の株式又は持分を所有することによる当該会社の支配・管理
ホームページ	<a href="https://www.daiwa-grp.jp/">https://www.daiwa-grp.jp/</a>
I R 室	ir-section@daiwa.co.jp

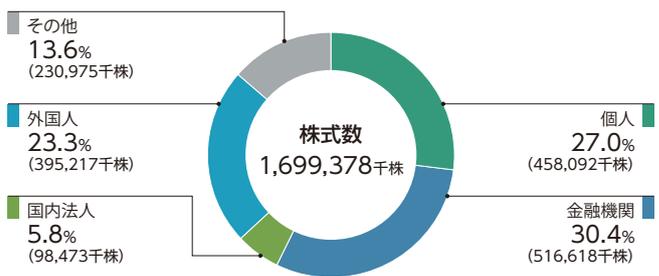
## ■ 東京証券取引所における当社株価 2019年4月1日～2020年3月31日

始値	高値	安値	終値	一日平均出来高
545.6	578.6	356.8	419.2	5,857千株

## ■ 株価および出来高の推移 2019年4月1日～2020年3月31日(東京証券取引所)



## ■ 株式の状況 2020年3月31日現在



(注1) 株式数は千株未満を切捨てています。  
 (注2) 株主数比率と株式数比率は小数第2位を四捨五入しています。  
 (注3) 「その他」には、政府・地方公共団体、証券会社、自己名義株式が含まれます。

## ■ 大株主(上位10名) 2020年3月31日現在

株主名	持株数(持株比率)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	117,262千株(7.71%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	70,107千株(4.61%)
太陽生命保険株式会社	37,980千株(2.49%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	32,208千株(2.11%)
日本生命保険相互会社	31,164千株(2.05%)
日本郵政株式会社	30,000千株(1.97%)
JP MORGAN CHASE BANK 385151	29,923千株(1.96%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	24,842千株(1.63%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口7)	24,347千株(1.60%)
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	23,044千株(1.51%)

(注1) 持株数は千株未満を切捨てています。  
 (注2) 持株比率は小数第3位を切捨てています。  
 (注3) 持株比率は自己株式(179,906,470株)を控除して計算しています。  
 (注4) 当社は、2020年3月31日現在、自己株式179,906千株を保有していますが、上記大株主から除外しています。

## 本・支店・営業所

大和証券ホームページの「店舗一覧」をご覧ください

▼ 全国のお店一覧

[https://www.daiwa.jp/service/channel/brc/product\\_list.html](https://www.daiwa.jp/service/channel/brc/product_list.html)



### コンタクトセンター

 0120-010101

受付時間

平日 8:00~19:00 土・日・祝日 9:00~17:00

### お客様相談センター

03-5555-2222

受付時間

9:00~17:00 (土・日・祝日、年末年始を除く)

「お客様相談センター」では、お客様のご意見、ご要望、苦情などを専用電話にてお受けがたいしています。お客様からお寄せいただいた「声」に真摯に耳を傾け、その声を企業活動に活かし、サービスやお客様満足度の向上に役立て、「お客様から選ばれる証券会社」を目指します。なお、ご注文や株価・残高照会、商品の詳しいご説明、資産運用のご相談はお取引の窓口で承ります。

## 株主メモ

### ■ 株式についてのご案内

決算日	3月31日(年1回)
期末配当	3月31日
基準日*	中間配当 9月30日
	* 剰余金の配当については、必要に応じ基準日を定めて実施することがございます。
定時株主総会	6月下旬(基準日3月31日)
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
公告掲載方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
	公告掲載URL <a href="https://www.daiwa-grp.jp/ir/shareholders/">https://www.daiwa-grp.jp/ir/shareholders/</a>

### ■ 住所変更のお手続きについて

ご住所を変更された場合、株主名簿の変更手続きが必要となります。お手続きをお忘れになると、株主総会招集ご通知や配当金関係書類などをお届けできなくなりますので、ご注意ください。

### ■ 単元未満株式の買増し・買取りについて

当社では、単元未満株式に不足分を買増して単元株式数(100株)におまとめいただけるよう、単元未満株式の買増制度を採用しています。また、当社に買取請求をすることもできます。

なお、下記期間は原則として買増および買取請求の受付を停止していますので、ご注意ください。

買増請求の受付停止期間	毎年3月31日の前営業日から起算して10営業日前の日から3月31日までの間、および9月30日の前営業日から起算して10営業日前の日から9月30日までの間
買取請求の受付停止期間	毎年3月31日の前営業日から起算して3営業日前の日から3月31日までの間、および9月30日の前営業日から起算して3営業日前の日から9月30日までの間

具体的なお手続きに関するご照会はお取引先の証券会社等にお問合せください。なお、特別口座を開設された場合の買増および買取請求は下記の三井住友信託銀行の電話照会先(フリーダイヤル)までお問合せください。

### ■ 三井住友信託銀行 証券代行部のお問合せ先

書類請求等のご照会

 0120-782-031

オペレーター対応：平日 9:00~17:00

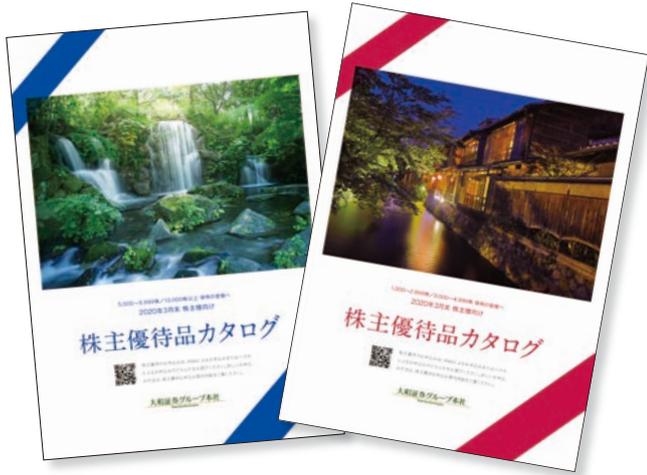
インターネットホームページURL

<https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

# 株主優待

毎年3月末と9月末の1,000株以上保有の株主さまを対象に、年2回の株主優待を実施しております。

2020年3月末株主優待の対象は、  
2020年3月末の株主名簿に記録されている  
当社株 **1,000株以上保有**の  
株主さまです。



## ■ 保有株式数

1,000株～2,999株  
保有の株主さま

3,000株～4,999株  
保有の株主さま

5,000株～9,999株  
保有の株主さま

10,000株以上  
保有の株主さま

## ■ 株主優待品

株主優待品  
(2,000円相当)  
カタログより **1点**

株主優待品  
(2,000円相当)  
カタログより **2点**

株主優待品  
(5,000円相当)  
カタログより **1点**

株主優待品  
(5,000円相当)  
カタログより **2点**

※ 株主優待制度の内容は、次回以降変更の可能性がございます。

## NEW 高齢者向け施設・住宅の入居時費用割引を新設

有料老人ホーム  
『グッドタイムリビング』  
入居時費用から **30万円**割引

高齢者向け賃貸住宅  
『プラテシア』  
入居時費用から **50万円**割引



利用可能者: 株主さま及びその配偶者さま並びにその親族さま(三親等まで)

## ■ 株主優待に関するお問合せ先 (株主優待品カタログについて)

### 株主優待品

株主優待品カタログ事務局

 **0120-044-315**

平日10:00-17:00  
2020年8月11日(火)～14日(金)を除く



## 「オリジナル カレンダー」 進呈について のご案内

2021年版の「オリジナルカレンダー」は、当社第83回定時株主総会において、議案の賛否にかかわらず議決権をご行使いただいた1,000株以上保有の株主様全員への進呈とさせていただきます。

何卒、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

- カレンダーは2020年12月に郵送いたします。お申込みの手続きは不要です。
- 2020年4月1日以降に住所変更された場合は、株主優待カタログ事務局(0120-044-315)まで必ずご連絡ください。

